



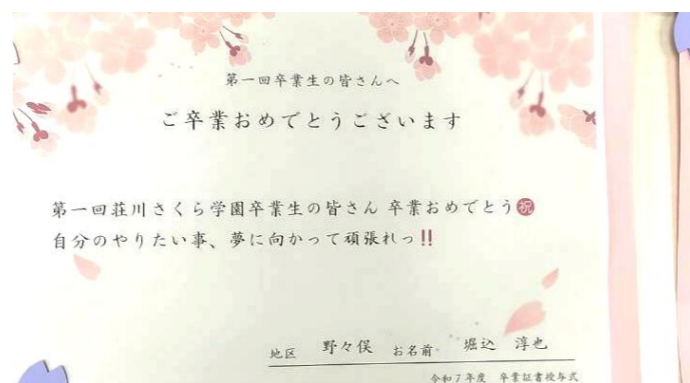
# 【荘川さくら学園】第1期卒業生を紹介



左から 道下 真依さん(牛丸)・山下 瑛太さん(野々俣)・井口 大夢さん(黒谷)  
田口 亜弥さん(町屋)・牧ヶ野 陽菜さん(寺河戸)



最後は在校生が獅子舞を披露し、卒業生を見送りました。  
地域の方々からお祝いの言葉をたくさんいただきありがとうございました。



# 【第4回】荘川に来て感じたこと

岩下 正枝

日を追うごとに、季節の移ろいを感じるようになりました。雪の荘川生活を乗り切り、少し胸をなでおろしているところです。ここらで冬の総括をしてみましょうか。

雪囲いで家の中が薄暗くなり、荘川の町全体がひっそりとしてきて、まるで「穴蔵生活」をしているような気分になりました。

屋根から滑り落ちる雪の音に驚き、早朝からフル回転の除雪機の音に「今朝の積雪はすごいのかな？」とおびえながら外の気配をうかがいます。

張り切って除雪機を運転するものの、雪を飛ばす方向を間違えると自分が雪まみれとなります。

早々に交代を命じられ、スコップ担当に格下げとなりました。でも、日頃の運動不足を少し解消できたのは、思わぬ収穫でした。

それにしても荘川の冬は寒いっ！朝、玄関の扉は凍っています。

なんと外の温度計はマイナス

15℃！寝ぼけているのか、それとも

温度計が壊れているのか、2度見、3度見してしまいました。寒い朝でも六厘のダイヤモンドダストを撮影しようと駆けつけた報道陣や写真家の皆さん、ご苦労様でした。

そんな極寒の中で見つけた私のおすすめ。それは日照岳が朝日に照らされて赤く燃えるように見える「モルゲンロート」。息を飲むような美しさです。

※モルゲンロートとは？

ドイツ語で朝焼けを意味する言葉。夜明けの太陽に照らされ山肌がピンク色や赤色に染まる現象。

**荘川 冬の生活総括図解**

- 深い雪と静寂の『穴蔵生活』**  
雪囲いで家の中が薄暗く、町全体が静まり返る。
- 落雪音と除雪機の爆音に驚く日々**  
屋根の落雪音と早朝の除雪機音に、おびえる。
- 除雪奮闘記と想定外の運動**  
除雪機の運転に失敗し、スコップ担当へ格下げ。でも運動不足解消！
- マイナス15℃の極寒と出会う絶景**  
凍る玄関、マイナス15℃！でもダイヤモンドダストやモルゲンロートは息を飲む美しさ。